

## PRESS RELEASE



2025年4月1日

各 位

株式会社ビューティカダンホールディングス  
(コード番号：3041 東証スタンダード)

### 「廃棄コスト削減と循環型資源活用へービューティカダンホールディングス、京都大学へ 菊花茎のセルロース抽出に関する研究委託を開始」

#### 《概要》

本件委託者である株式会社ビューティカダンホールディングス（本社：熊本県熊本市、代表取締役社長：舩田正一 以下、「当社」という）は、当社グループの事業活動において廃棄される、菊の花茎からセルロース（※）を抽出・分析し、循環型利活用可能な高付加価値製品の開発を目指し、本件受託者である国立大学法人京都大学（京都府京都市左京区 学長 湊長博 以下、「京都大学」という）と、受託研究契約を締結いたしました。

※セルロースは植物の細胞壁や繊維の主成分で、地球上で最も多く存在する炭水化物であり、食品・紙・衣料品・化粧品・医薬品など、幅広い分野で利用されています。

#### 《研究の背景・内容》

近年、環境負荷の低減と資源循環の重要性が高まる中、フラワービジネスにおける廃棄物削減は喫緊の課題となっております。また、当社グループでは年間3000万円以上の廃棄コストが発生しており、特に生花祭壇や供花で使用される菊類の花茎の処理が大きな負担となっております。

そのような中で、本委託研究では京都大学生存圏研究所・西村裕志特定准教授と連携し、菊類の花茎からセルロースを抽出・分析する基礎実験を実施、循環型利活用を可能にする高付加価値製品の開発による新たなビジネス機会の創出、廃棄コストの大幅な削減を目指します。

今後とも、これまでの生花祭壇事業で培った知見を活かし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速させてまいります。

《研究概要》

研究テーマ：バイオマスに関する学術研究と利活用展開

研究担当者：西村裕志（京都大学生存圏研究所・特定准教授）

研究期間：2025年4月1日～2025年9月30日

研究実施場所：京都大学生存圏研究所

研究目的：菊の花茎由来セルロースの抽出・分析、循環型利活用可能な高付加価値製品の基礎実験

《会社概要》

会社名：株式会社ビューティカダンホールディングス

所在地：熊本県熊本市南区流通団地1-46

代表者：代表取締役社長 舛田正一

事業内容：生花祭壇事業、生花卸売事業、ブライダル装花事業

《参考》



使用後、回収



セルロース抽出



プラスチック類・紙類・  
繊維類等の代替品へ

《お問い合わせ先》

株式会社ビューティカダンホールディングス 広報担当

TEL：096-370-0004

Email：ir-info@beauty-kadan.co.jp

Web サイト：<https://www.beauty-kadan.co.jp>